

日本育種学会第136回講演会 男女共同参画推進委員会ランチョンセミナー 実施報告書

- ・ 日時: 令和元年 9 月 7 日 (土) 12:00-13:00
- ・ 場所: 近畿大学農学部 教室棟 1 階 101 教室
- ・ 後援: 男女共同参画学協会連絡会
- ・ 講演タイトル・演者:

「研究者としての私の夢」

岡田萌子 (神戸大学大学院農学研究科博士後期課程 2 年)

「徹底！総合討論会！」

司会進行: 村井耕二 (日本育種学会男女共同参画推進委員会委員長)

- ・ セミナー概要:

当日は 100 名超の学会員の出席があり、全体の半数以上が 20-30 代の若手会員であったことに加え、女性会員には特に若手率が高いという傾向もあり、育種・研究現場での男女共同参画に対する若手会員の関心の高さを実感するセミナーとなりました。



写真: 岡田氏と講演中の様子

演者の岡田氏からは、コムギ近縁種を用いた雑種生育不全に関わる遺伝子座の同定等の興味深い研究内容や、若手出席者にとって非常に重要なポイントとなる奨学金獲得への道のり、具体

的には学術振興会以外にも実は多くの選択肢があること等、お金にまつわる内容までわかりやすくお話し頂きました。また、現在の若手が直面している悩み、不安に感じていること等を具体的に挙げて頂き、今後若手が活躍するためにはどういった方策が必要とされるかといった点についても若手の立場から意見を述べて頂きました。

その後の総合討論では、村井委員長より日本および育種学会の女性研究者数の実際（まだまだ数値目標には届いていない）、大規模アンケートの結果の紹介など、現時点での男女共同参画の実情をご紹介頂き、それをもとに育種学会として男女共同参画を推進する（女性会員を増やす）ためには何をなすべきか等について活発な意見交換が行われました。若手は学会として何かサポートして欲しいことはあるかという質問に対して、若手同士が前向きな話をすることを目的とした交流会があると進路に悩んでいる学生にとって助けになるのではないかといった建設的な意見も挙がり、大いに共感を呼んでいました。



写真：総合討論中の様子

出席者の皆様より質疑およびアンケート（後述）を通して多くの貴重な感想・意見が寄せられました。こうした学会員の意見をもとに、男女共同参画推進委員会ではより良い育種学会の実現を目指して活動して参ります。ご講演頂きました岡田様、およびご参加頂いた学会員の皆様に心から感謝申し上げます。

アンケート結果

※ Web 版, 印刷版合わせて計 74 名から回答を得ることができました. ご協力ありがとうございました.

Q1. あなたの性別をお教え下さい. (一つに丸をして下さい)

1. 男性 2. 女性 3. その他・回答しない

Q2. あなたの年代をお教え下さい. (一つに丸をして下さい)

1. 20 代 2. 30 代 3. 40 代 4. 50 代 5. 60 代以上 6. 回答しない

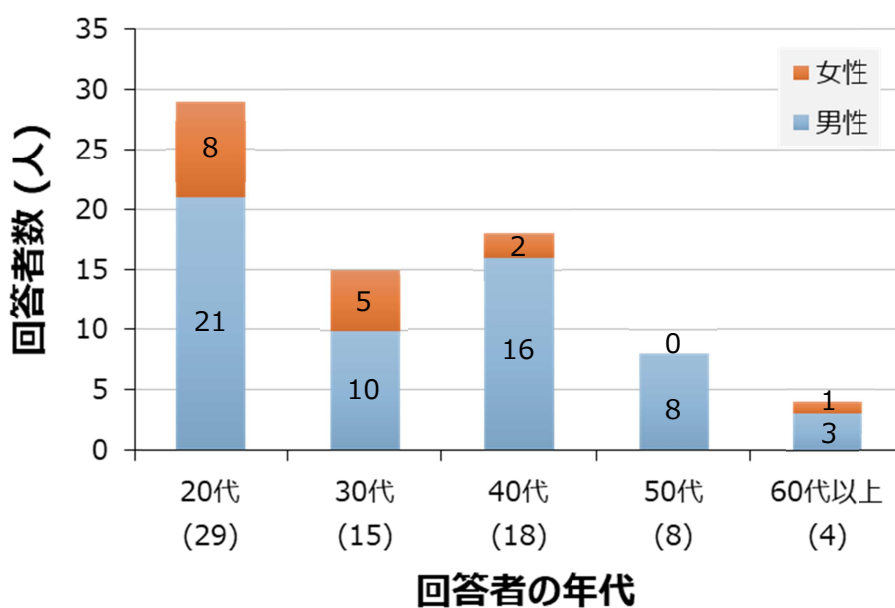


図 1. アンケート回答者の年代分布および各年代における性別ごとの回答者数
横軸括弧内は各年代の総人数を示す.

Q3. あなたはなぜこのセミナーに参加されましたか？（一つに丸をして下さい）

1. 知人の紹介
2. プログラムを見て
3. 会場のチラシを見て
4. お昼を食べるため
5. 呼び込みに捕まって
6. その他

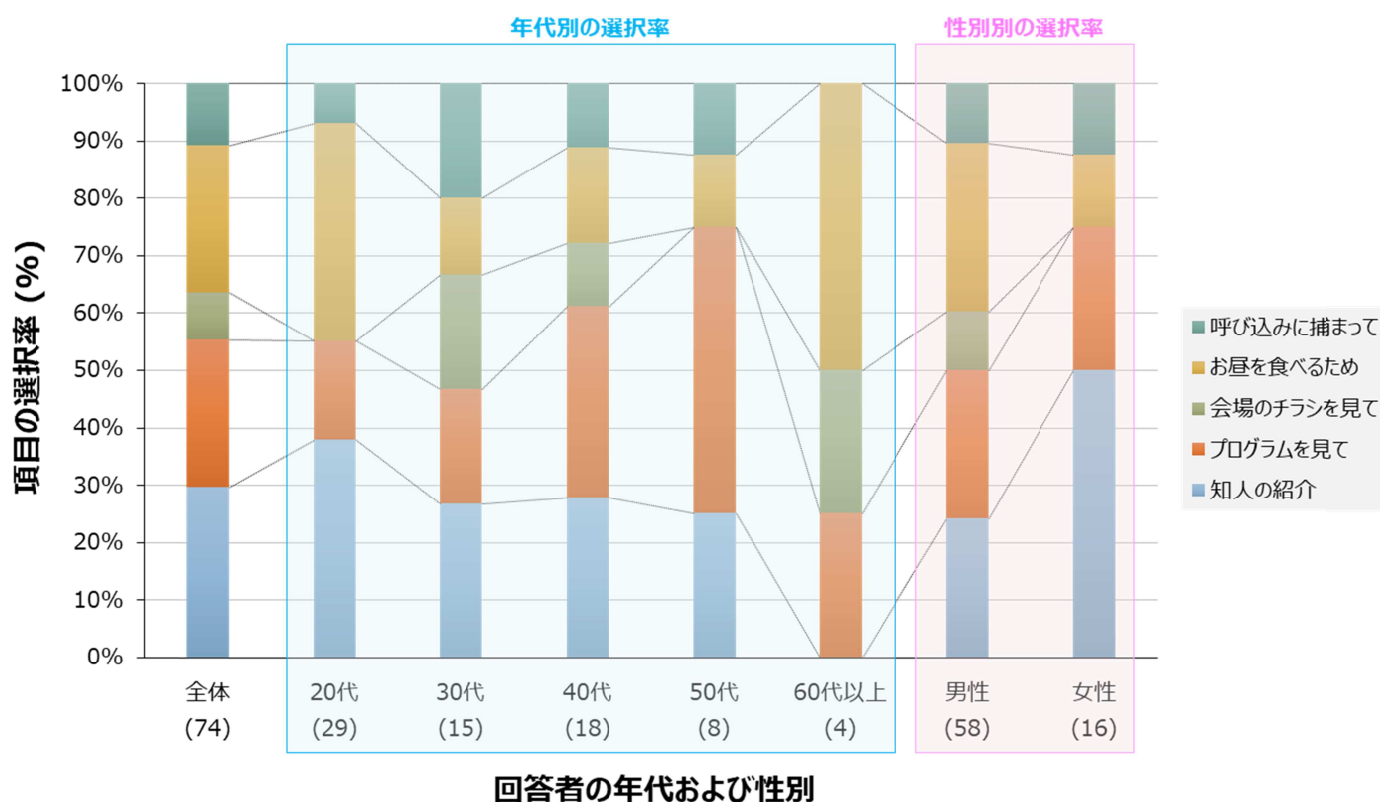


図 2. セミナー参加理由に関する積み上げ棒グラフ

横軸左端は回答者全員を合わせた際の項目選択率，それ以外は年代別・性別別の項目選択率を表す。横軸括弧内は各クラスの総人数を示す。

Q4. 今回のセミナーはいかがでしたか. (それぞれ一つに丸をして下さい)
 トピック, 演者, お弁当 それぞれについて,
 1. とても良い 2. 良い 3. 普通 4. 良くない 5. 非常に良くない

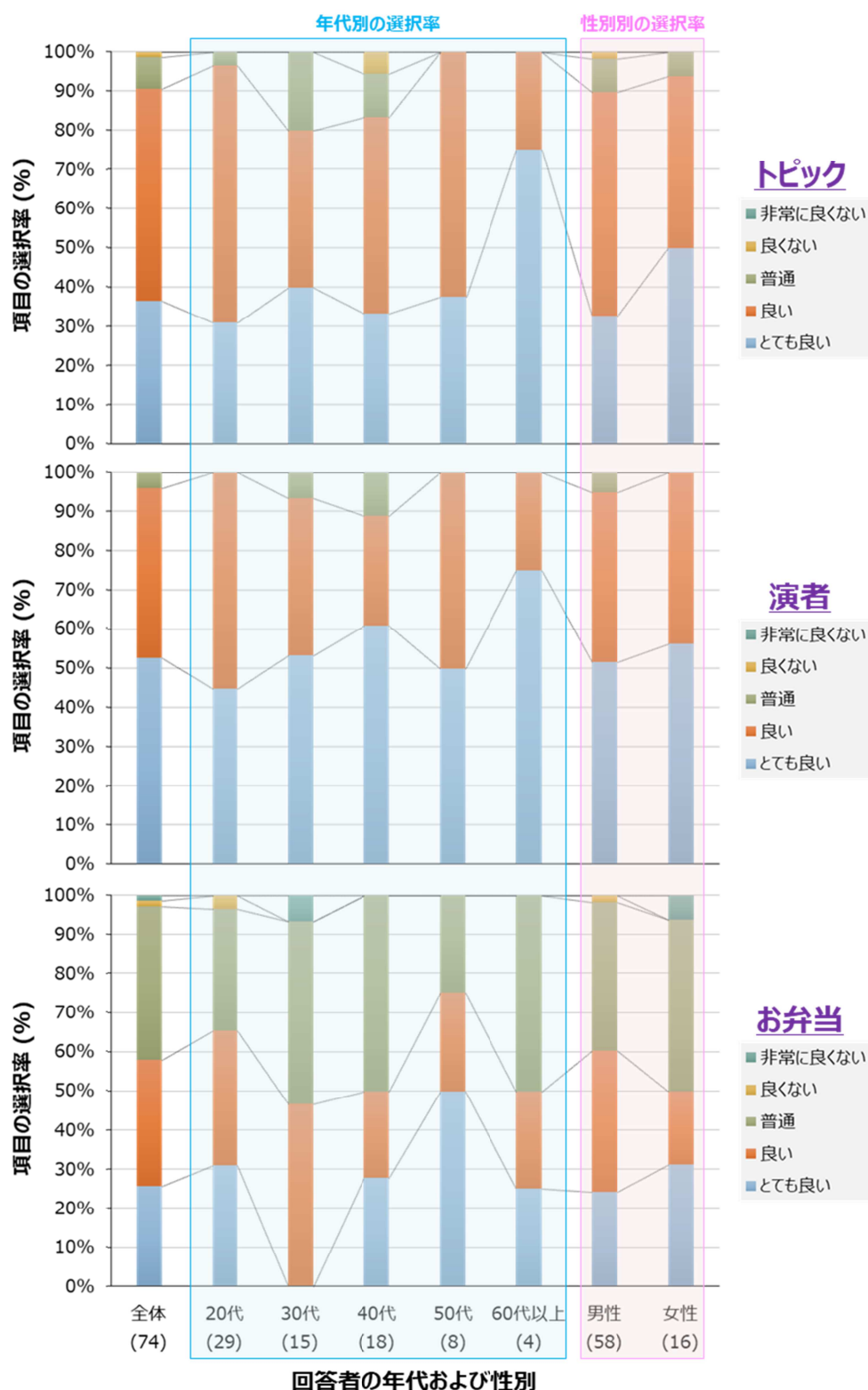


図 3. トピック, 演者, お弁当に対する評価に関する積み上げ棒グラフ
 横軸左端は回答者全員を合わせた際の項目選択率, それ以外は年代別・性別別の項目選択率を表す. 横軸括弧内は各クラスの総人数を示す.

Q5. 今回のセミナーの感想をなんでもお書き下さい。

回答者性別・年代	感想
男性・50代	司会者が講演者を食っていた。
男性・20代	お弁当が美味しくなかった
男性・20代	ざつぱらんな雰囲気良かったと思いました。
男性・20代	若手研究者の現状を知れた。
男性・50代	初めて参加しましたが、興味深かった。
男性・30代	ハラスメントを多少感じる部分がかかります。
男性・20代	あまり知らなかった女性側の意見を知れて、とてもためになりました。
男性・40代	アットホームで非常に良い
女性・20代	実際の先輩の経験や考えから、社会的制度、問題まで幅広く扱っていてわかりやすかったです。
男性・30代	生の声を聞く機会があつてよかった。サポートする仕組みを作ってあげたい
男性・40代	司会が雑でした。
男性・30代	難しいことはわかるのだが、総合討論の体をなしていなかったのが少し残念
男性・60代以上	演者の研究への意欲が感じられてよかった。
女性・40代	岡田さんの話、おもしろかったです。今度は年上女性のお話を聞いてみたいです。
男性・20代	セミナーを通して、今の日本では女性研究者の数を増やすための数値目標がある一方で、家庭との両立や職場環境などの面でまだまだ困難があることが分かりました。これを改善するためにも社会の女性研究者に対する理解を深める必要があると思いました。
男性・60代以上	女性会員を増やすための努力をしていること、いいと思います。いい刺激的な講演でした（問題提起として）
男性・50代	アカデミアだけでなく企業への道も選択のひとつとして考えて欲しい
女性・20代	全然知らないアンケートの結果が見れておもしろかった。
女性・30代	・ かなり長期的な観点から言うと、小学生・中学生・高校生に対してアウトリーチ活動（サイエンスカフェ・出前授業など）をおこなっていくことで、まず理系を目指す女性を増やすことも大事だと思います。もっと前の段階ですでにバイアスがかかっています。 ・ 夫婦別姓を進めていくことも重要だと思います。 ・ 岡田さんのお話を聞いて、自分が学生の時に不安に思っていた色んなことを思い出しました。今、自分も頑張らないといけないと元気をもらいました。
女性・30代	学会期間に、こういったセミナーが開かれるのがとても良いことだと思います。結論や、良いアイデアが出なくても、男女共同参画を考える機会になるので・・・。
男性・40代	発表がとても良かったです
男性・40代	村井先生の進行楽しかったです。学会 HP を利用して、広く意見や改善策、体験談を共有できると良いです。
男性・40代	実際の学生さんによるお話は、聴衆側の学生にも参考になったと思います。
男性・40代	村井先生お疲れ様でした。
男性・20代	博士進学を考えているので、今後どのような心持ちでいれば良いか考える機会になった。また、現状では研究者に向けての道は厳しいものだった。
女性・60代以上	とても良かったです。若い人の実情をくわしく話していただい大変勉強になりました。大変、話題にするのがむずかしい話題ですが、以前は出産は修士～博士の間に 2 人、といわれたこともあります（生物学的、人間的適齢期）。この辺は今ではどうでしょうか？

Q6. 今後のセミナーではどのような年代・性別の演者の講演を聞いてみたいですか？（複数選択可）

1. 20代・女性 2. 30代・女性 3. 40代・女性 4. 50代・女性 5. 60代・女性
6. 20代・男性 7. 30代・男性 8. 40代・男性 9. 50代・男性 10. 60代・男性
11. その他

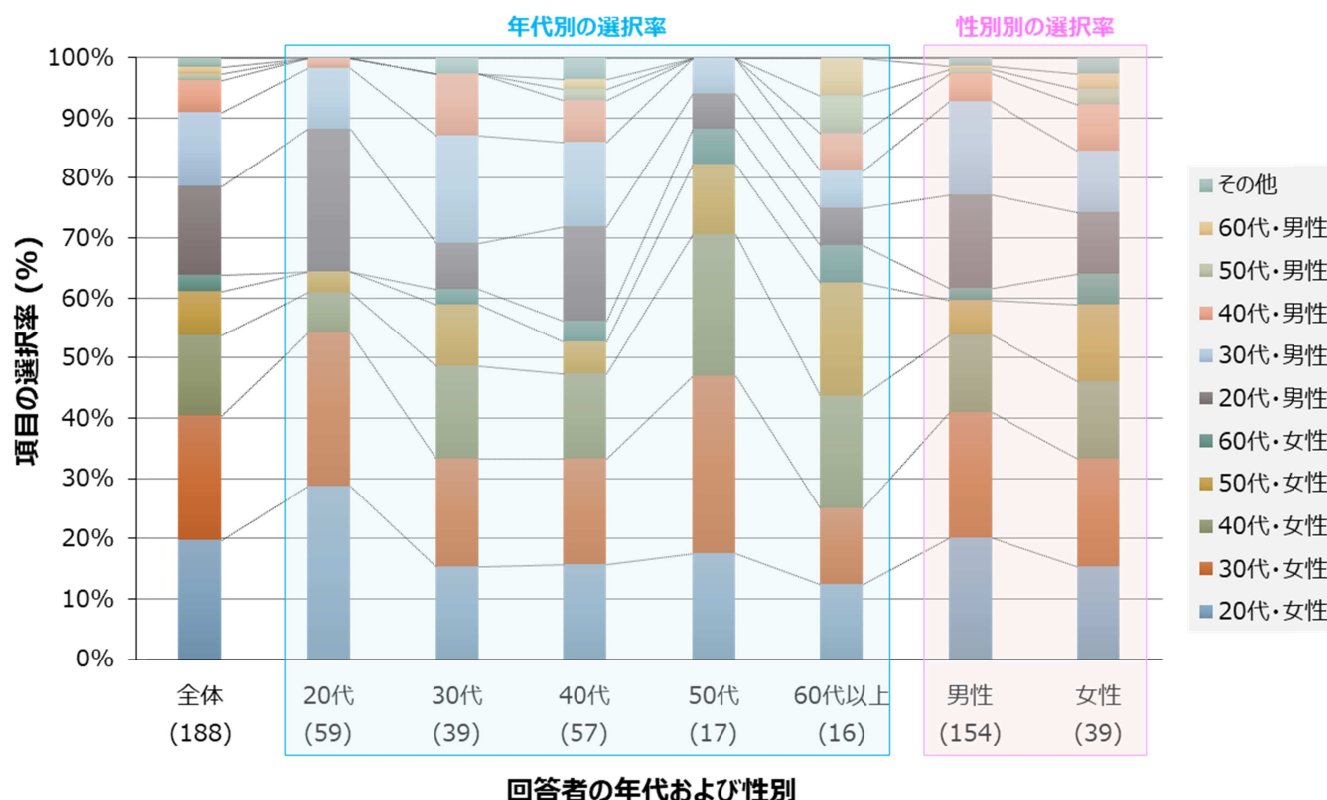


図 4. 今後のセミナー演者の年代・性別の希望に関する積み上げ棒グラフ

横軸左端は回答者全員を合わせた際の項目選択率，それ以外は年代別・性別別の項目選択率を表す。横軸括弧内は各クラスの総回答数を示す。

「その他」に寄せられたご意見

- ・ 内容次第 (男性・40代)
- ・ 女性割合の多い企業の人 (男性・40代)
- ・ 自分が学生の時に博士の学生の就職支援の話を聞き、ためになったのでおすすめします。
(女性・30代)

Q7. 今後のセミナーではどのような内容の講演を聞いてみたいですか？（複数選択可）

1. 研究 2. キャリアパス 3. 組織の取り組み 4. ライフハック（仕事術・生活術）
5. 成功/失敗談 6. その他

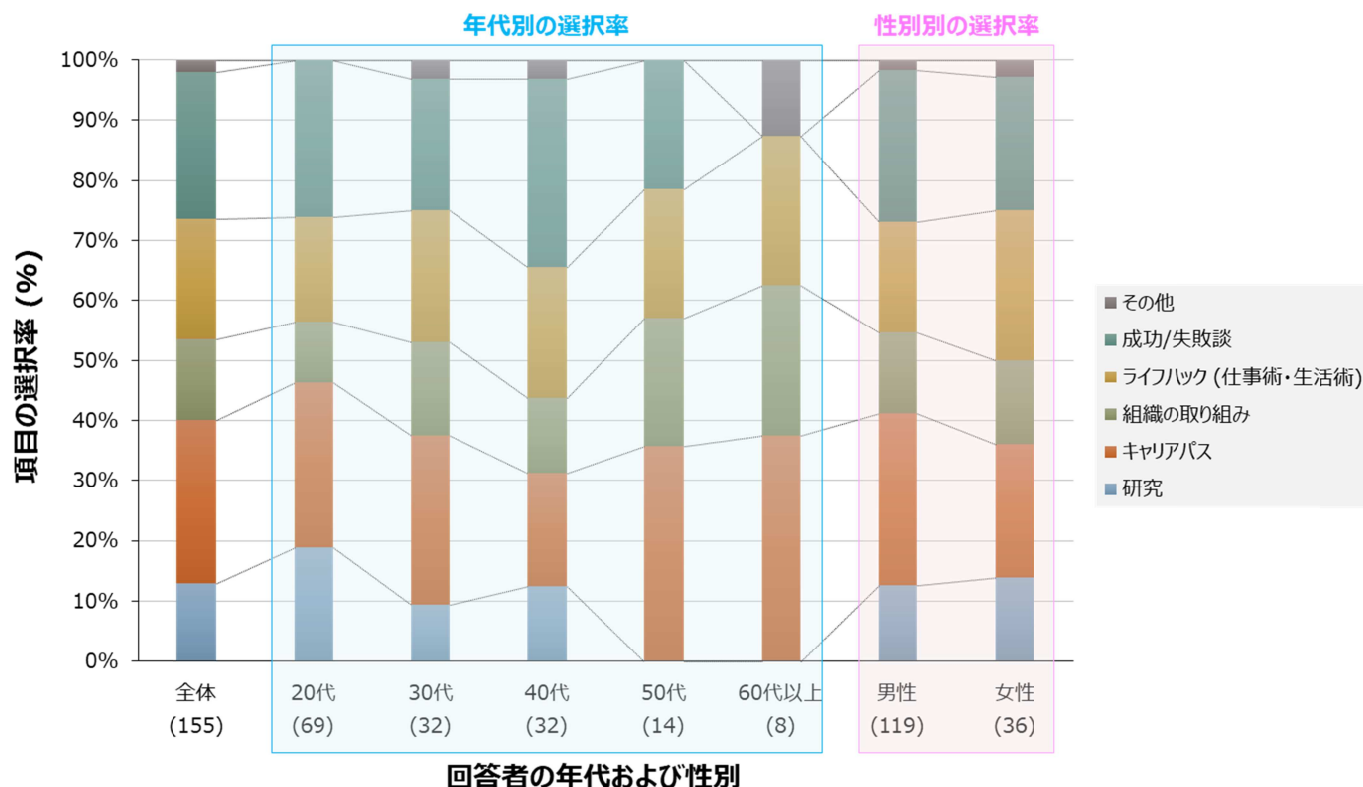


図 5. 今後のセミナー内容の希望に関する積み上げ棒グラフ

横軸左端は回答者全員を合わせた際の項目選択率，それ以外は年代別・性別別の項目選択率を表す。横軸括弧内は各クラスの総回答数を示す。

「その他」に寄せられたご意見

- ・ 若い人がリードするフリーディスカッションが必要だと思います。(男性・30代)
- ・ 企業の取り組み (男性・40代)
- ・ 夫婦の職場のきより、と子育て、別居婚をどれだけつづけるのか、どちらかが正規のポストについたら、近い分野の場合、退職して、その lab.や周辺の何かの形でやとってもらう。→ 無休で手伝い??...等は今もあるようですが、どうなのでしょう。(女性・60代以上)

Q8. あなたは以下のうち、どのようなことに興味がありますか？（複数選択可）

1. 研究職に就職するには
2. 企業で必要とされる人材，大学で必要とされる人材
3. 研究資金の獲得方法
4. 子育てと仕事の両立
5. ハラスメントのかわしかた
6. 介護と仕事の両立
7. 離職・退職後に研究を続けるには，あるいは復職するには
8. その他

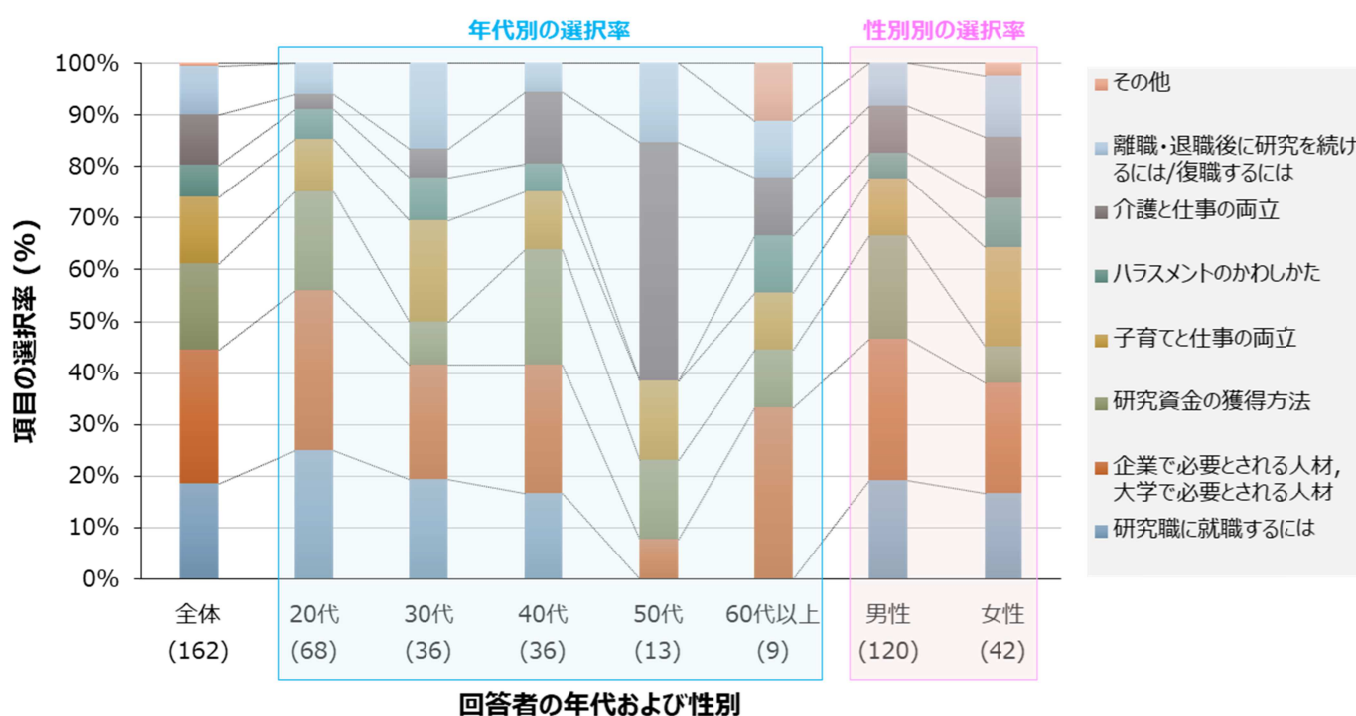


図 6. 出席者が興味を覚えるテーマに関する積み上げ棒グラフ

横軸左端は回答者全員を合わせた際の項目選択率，それ以外は年代別・性別別の項目選択率を表す。横軸括弧内は各クラスの総回答数を示す。

「その他」に寄せられたご意見

- ・ 組織的な若い世代（全世代）へのサポート担当が必要？(病気になって、子供が障害がある、・・・等の相談にのってもらう、サポート) (女性・60代以上)

Q9. 最後に、本委員会に対するご意見・ご要望・ご提案等ありましたら是非お聞かせ下さい。

回答者性別・年代	コメント
男性・50 代	ご苦労様です
男性・20 代	ありがとうございました。
男性・30 代	声の大きい人たちが雰囲気を作り過ぎていることが気になります。
女性・20 代	もう少し、育種学会としてどうするか、というふうに論点を絞ると良い気がする。
男性・40 代	理想的な目標は当然として、それが今日明日に達成されるわけではないですね。なので、複数の短期目標を設定するような議論はないものかと毎回思います。第 1 段階として具体的な中身を考えてみませんか。
女性・40 代	女性が研究業界に残りにくいのは業界がハード過ぎるからだと思う。 プロジェクトを取れば地獄のような事務業務が付いてきて健康な生活を圧迫する。この部分の改善が必要。
男性・40 代	育種の現場に役立つ研究が増えれば、もっと試験場関係の参加も増えるのではないかな？
男性・50 代	継続していくことが大事だと思います
女性・30 代	・ 女性学会員がどんなことで困っているか、どんな支援を必要としているかをもっと意見を聞いてから、討議会をしてもらえたら嬉しいです。 ・ 岡田さんがおっしゃっていた若手の会的なものはよい意見だと思います。私も参加したいです。
女性・60 代以上	・ パートナーと同居で、研究をつづけることができることについて、農水系は、配慮が厚いとききます。又、障害のある子どもへの援助が手厚いとききます。 ・ 一般にはまだまだで、つづかなくなり、どちらか（正規職）の方に転属し、アルバイトで生活、などもあるようです。 ・ 又、後輩で、教授職で定年までつとめた女性は、半分以上、ずっと別居でした。 ・ 学会のすそのをひろげるには、動物学会?などのように地元の高校授業? 試験場 企業人に参加してもらっては？

本アンケート結果は次回以降のセミナー企画の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

【日本育種学会男女共同参画推進委員会】